

# お知らせ

## ◆周作クラブ2025年「新年会」

来年も賑やかに新年会を行いたいと思います（豪華景品を用意した福引付き）。昨年の大盛會を再現しましょう。会場を新宿にいたしましたので、お誘いあつてご参加ください。なお、オンライン参加はありません。

＊ひと月ほど前に「参加申込」のための往復ハガキをさしあげます。ぜひご予約をあけておいてください。

日時 1月25日（土）12時半から  
会場 スパニッシュダイニングCOCO

東京都新宿区西新宿2ノ1ノ1  
新宿三井ビルディングB1F  
※「新宿」駅西口 中央通り地下通路より徒歩6分。都営大江戸線「都庁前」駅A1出口より徒歩1分。

## ◆「遠藤文学・原点の旅」のご案内

2025年の「遠藤文学・原点の旅」が左記のように決定しました。

第23回 原点の旅（1泊2日）  
「ユリアとよぶ女」「怪奇小説」の舞台——駿府・網代・熱海をバスで  
日時 5月18日（日）～19日（月）

費用 現地集合の場合 約5万5,000円  
0円東京発着の場合 約6万5,000円（現時点での見込み）※参加人数によって金額が変わる可能性があります。

予定スケジュール  
18日 10時50分 新幹線・静岡駅—

バスで駿府城へ（途中で昼食）——駿府城庭園散策——カトリック静岡教会——宝台院——17時ころ網代・大繩公園——熱海あるいは網代のホテル——ホテル内にて夕食懇親会。

19日 9時ホテル発——怪奇小説ゆかりの地・熱海を散策（起雲閣なども見学）——昼食は小田原「鈴廣」——その後「小田原駅」にて解散。

＊最少催行人数は15名です。  
＊現地集合・各地の空港等からの発着も可能です。

＊現時点での予定であり、スケジュールや訪問先は変更する可能性があります。

＊プラン確定のためには、おおよその参加人数を把握する必要があります。

＊実現可能となれば、次号会報で詳細なスケジュールを発表し、参加ご希望の方々は、旅行社から直接ご案内をお送りします。まだ迷っておられる方も、とりあえずお申込みください。3月に詳細なスケジュール、料金をお知らせし、あらためて参加不参加をお尋ねします。

## ◆遠藤周作の関連本

『遠藤周作 道化の泪——無名の人の声を聴く』 今井真理 著

11月25日刊行予定 定価3,080円  
※独自の視点へ遠藤文学と無名の人々をテーマとした著者2冊目の遠藤論です。「周作クラブ」会

員は送料無料。価格は税込み。  
＊お問合せは、河出書房新社編集部・太田美穂まで。m-ota@kawate.co.jp

TEL 03・3404・8611  
FAX 03・3404・1377

## ◆関連イベント

「メナム河の日本人」（再演）  
＊原作は、山田長政とペトロ岐部の邂逅を通し、「日本人とは何か」を問う遠藤周作による戯曲。

会場 静岡芸術劇場  
公演日 1月18日（土）、19日（日）／2月15日（土）、16日（日）／3月1日（土）、2日（日）……各日14時開演

演出 今井朋彦  
料金 一般 4,200円 25歳以下および学生 2,000円、高校生以下 1,000円。

問合せ先 SPAC（静岡舞台芸術センター）チケットセンター  
TEL 054・202・3399

## ◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。

年会費は3,000円。入会金はありません。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「新年会」「周作忌」「文学セミナー」や遠藤作品の足跡を訪ねる「遠藤文学・原点の旅」、そして「オンライン懇親会」にも参加できます。下記「周作クラブ」まで、ハガキかEメールでお申込みください。折り返し、資料と会費振込用紙をお送りします。

## ＊編集後記＊

▼10月も半ばを迎え、ようやく秋めいて来ました。衣更えの準備をと思い、向こう一週間の天気を調べたら、まだまだ半袖が必要らしく、先延ばしにしました。

▼周作忌も無事終えました。実に5年ぶりのパーティー形式となりました。第一部はリモート参加も可のシンポジウム、第二部がパーティーという豪華版となりました。

▼周作クラブの次の事業は新年会です。半袖を着て「忘年会」や「新年会」のことを書いているのも何だかおかしな気分です。幹事、役員そろって少しでも楽しいものにして準備しております。

▼周作クラブ会報も来年の夏で100号となります。皆さんと一緒に100号を作りたいと思っております。ご意見や考えをお聞かせください。

▼「沈黙」に続いて、マーティン・スコセッシ監督がまた遠藤作品を映画化するようです。「死海のほとり」です。映画製作というのは、発表されてから実際に撮影し公開されるまでには膨大な時間とお金がかかります。ぜひとも公開まで漕ぎ着けていただきたいものです。（亀）

## 「周作クラブ」第97号

2024年11月発行

■編集人 亀岡園子

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子、杉本佳奈、丸田明利

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

Eメール Shusaku\_club@yahoo.co.jp